

ことを聞きました



**東浦町工場立地法
に基づく町準則を
定める条例**

Q 本準則を定めて緑地面積等の規制緩和すること、企業誘致の推進のための立地競争力を図っていくことや、他市町への工場流出防止が主旨ならば、工業専用地域も緩和区域に入れるべきでは。

A 現在の工業専用地域は、工場の緑地が自然環境学習の森と一体となっているため、本町が緑地を守っていくべき区域として対象から外している。

戸籍・住民基本台帳

Q 眞贋判定機とは。

A 運転免許証、マイナンバーカード、在留カード、住民カード、マイナンバー通知カードの眞贋が判断できるもので、なりすまし犯罪の抑止効果が期待できる。

町制70周年記念事業

Q 於大まつりおよび産業まつり推進協議会負担金、町制70周年に向けての増額は。

A 於大まつりは、火縄銃演武拡大、住民参加型の提灯行列を予定している。産業まつりは、会場レイアウトの見直し、飲食ブースの整理や体験ブースの充実、子どもが楽しめるふれあいの場等を企画している。

**木造住宅耐震
シェルター整備費
補助事業**



▲耐震シェルターのレプリカ

Q 耐震シェルター整備費補助金とは。

A 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で耐震診断の判定値が0・4未満で65歳以上または、身体障害者等、地震発生時に避難が困難な方の住宅に設置する耐震シェルターの購入、設置等に要する費用を補助し、上限は1戸30万円とする。

**文教厚生
委員会**

30年度一般会計予算

Q 社会福祉一般管理事業のコミュニティソーシャルワーカーが3人になり、どのような相談体制になるのか。

A 現在のコミュニティ

ソーシャルワーカーは、男性2人が配置されている。女性からの相談もあることから、今後女性のコミュニティソーシャルワーカーの配置を検討していきたい。

Q 石浜老人憩いの家の工事の内容と工期は。

A 雨漏りのため、屋根の改修と壁や床の一部を改修する。工事は、31年度を予定。

Q 新規の産後ケア事業の概要は。

A 医療機関で実施している産後ケア事業の費用の一部を、委託料として医療機関に支払い、不足分は利用者本人が負担する。沐浴指導や授乳指導を母子同室で実施してもらうことで、里帰り等の支援が受けられない方の支援を行う。

Q 中央図書館の雨漏りの状況、屋根樋、外壁改

常任委員会 こんな



▲東浦みどり浜緑地

修工事の概要、時期は。

【A】台風時等、図書館東側の2階ガラス面から書架下まで雨水が浸っていることがあった。屋根樋、外壁目地部分の防水処理及び外壁面の撥水剤塗布を考慮しており、改修工事の時期は、平成30年12月から平成31年3月の間で行う。

【Q】東浦緑地多目的グラウンド芝管理業務委託料の減額理由は。

【A】委託内容から殺虫・殺菌剤散布、肥料散布、改良剤散布、芝刈り、目砂散布を除外し芝刈りについては、直営で行うこととした。



29年度一般会計
補正予算

【Q】総務一般管理費の郵便料金の増額の内訳は。

【A】マイナンバーを含む郵便物を普通郵便から書留に変えたことにより約32万円、市内特別郵便の値引き幅が圧縮されたこと等により増額となった。

30年度一般会計
予算

【Q】ふるさと納税の前年度の見込み額は。また、人気の返礼品に変化は。

【A】ふるさと納税の見込みは、29年度2億9000万円、返礼品はこれ

までと変わらずカリモク家具、黒毛和牛が人気である。

【Q】東浦町制70周年記念事業補助金（花火大会）を大府市と負担することとした経緯は。

【A】大府東浦花火大会実行委員会から、大府市と東浦町に協力の依頼があり、双方で協議し大府市は観光に寄与する事業、東浦町は、70周年記念の発信に寄与する事業として双方にとって功績があ

ると判断し補助を決定した。

【Q】パートナーシップ推進事業をするにあたり、住民に対しテーマが押し付けになっていないか。

【A】町の補助金であるため、団体が自由に使えるものではなく、適切であるのか、公共性があるのかの視点を持ちながら、市民活動のきっかけや継続的な町との協働関係が築いていけるよう考えて事業を進めている。



▲町制70周年ロゴマーク